

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 ENEOSホールディングス株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 5020 URL <https://www.hd.eneos.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 猛  
 問合せ先責任者 (役職名) インベスター・リレーションズ部 (氏名) 横山 翔 TEL 03-6257-7075  
 IRグループマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満は四捨五入して表示しています)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,394,034	56.3	394,750	16.8	397,665	21.2	248,756	17.7	370,552	36.0
2022年3月期第2四半期	4,731,408	40.7	337,827	280.0	328,198	325.6	211,365	480.1	272,481	732.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	78.95	78.77
2022年3月期第2四半期	65.83	65.67

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,824,007	3,472,034	3,066,415	28.3
2022年3月期	9,648,219	3,234,079	2,860,797	29.7

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2023年3月期	—	11.00			
2023年3月期 (予想)			—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900,000	36.4	560,000	△28.7	540,000	△30.0	330,000	△38.6	107.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正に関する事項については、本日発表の「2023年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」及び添付資料の4ページをご参照ください。

上記の「基本的1株当たり当期利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2022年9月30日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しています。

なお、在庫影響(\*)を除いた利益相当額(予想)は、以下のとおりです。

	営業利益	(対前期増減率)
在庫影響を除いた利益相当額(通期)	2023年3月期 予想 340,000百万円	(△18.2%)
	[<参考> 2022年3月期 実績 415,600百万円]	

(\*) 総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）BST ENEOS Elastomer Co., Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	3,230,282,649株	2022年3月期	3,230,282,649株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	162,836,598株	2022年3月期	19,086,925株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	3,150,874,437株	2022年3月期2Q	3,210,976,645株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述について）

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況又はエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響
- (3) 法律の改正や規制の強化
- (4) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

※ 対前期(対前年同四半期)増減率について、当期(当四半期)・前期(前年同四半期)の一方もしくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「－」を記載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催します。この説明会で使用する資料等につきましては、決算発表と同時に当社ウェブサイトにて掲載します。

・2022年11月10日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等につきましては、当社ウェブサイトをご確認ください。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## [全般]

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年9月30日)においては、中国における経済活動抑制の影響や世界的な物価上昇を背景とした米欧の金融引き締め等を受け、世界経済の回復ペースは鈍化しています。

わが国経済については、物価上昇による家計や企業への影響や世界経済の下振れ等下押し懸念はあるものの、新型コロナウイルス感染のピークアウトにより経済社会活動の正常化が進む等、緩やかに持ち直しています。

同期間における原油価格(ドバイ原油)は、期初は1バレル当たり102ドルから始まり、期末には90ドル、期平均では前年同期比33ドル高の102ドルとなりました。EUのロシア産原油禁輸措置の導入による供給不足感等を受け上昇局面が継続し、6月には119ドルまで上昇しましたが、各国の金融引き締めによる世界的な景気後退懸念等により7月以降は下落に転じ、90ドル前後で推移しています。

銅の国際価格(LME〔ロンドン金属取引所〕価格)は、期初は1ポンド当たり465セントから始まり、期末には347セント、期平均では前年同期比41セント安の392セントとなりました。中国の経済減速や世界的な景気後退懸念の高まりを受け7月にかけて310セント台まで大きく下落し、その後は350セント前後で推移しています。

円の対米ドル相場は、日米の金利差拡大を背景に急速に円安が進行しており、期平均では前年同期比24円円安の134円となりました。

こうした状況のもと、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、原油価格の上昇に伴う石油製品販売価格の上昇や円安の進行等により、前年同期比56.3%増の7兆3,940億円となりました。また、営業利益は、原油価格上昇による在庫影響等により、前年同期比570億円増益の3,948億円となりました。在庫影響(総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響)を除いた営業利益相当額は、前年同期比520億円減益の1,166億円となりました。

金融収益と金融費用の純額29億円を加えた結果、税引前四半期利益は、前年同期比695億円増益の3,977億円となり、法人所得税費用1,234億円を差し引いた四半期利益は、前年同期比385億円増益の2,743億円となりました。

なお、四半期利益の内訳は、親会社の所有者に帰属する四半期利益が2,488億円、非支配持分に帰属する四半期利益が255億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

## [エネルギーセグメント]

エネルギーセグメントについては、自動車の低燃費化を主因とする構造的な国内石油製品需要の減少はあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響緩和及び好調な輸出市況を受けて輸出数量が増加したことにより、販売数量は9.4%増となりました。一方、石油化学製品は、中国におけるロックダウンの影響により、パラキシレン、ベンゼンともに市況は前年同期に比べ悪化しました。

こうした状況のもと、エネルギーセグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は、原油価格の上昇等により、前年同期比65.1%増の6兆2,606億円となりました。営業利益は前年同期比327億円増益の2,292億円となりました。これには原油価格の上昇を主因とする在庫影響による会計上の利益が2,782億円(前年同期は1,692億円)含まれており、在庫影響を除いた営業損失相当額は、前年同期比763億円減益の490億円となりました。

## [石油・天然ガス開発セグメント]

原油及び天然ガスの生産量については、英国事業の売却（2022年3月完了）の影響等により、前年同期に比べ減少しました。一方、原油及び天然ガスの販売価格は、原油市況を反映し前年同期に比べ大幅に上昇しました。

こうした状況のもと、石油・天然ガス開発セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比2.3%増の977億円、営業利益は前年同期比216億円増益の604億円となりました。

## [金属セグメント]

機能材料・薄膜材料事業については、中国のゼロコロナ政策等による影響で一部製品の販売環境の悪化があったものの、サーバー、通信インフラ等高機能IT分野での需要の増加に加えて、為替が円安に推移したことで増益となりました。

資源事業については、チリのカセロネス銅鉱山における生産量は、前年同期に比べて増加したものの、銅価格の下落を主因に減益となりました。なお、同鉱山においては、引き続き生産性の向上とコスト削減に取り組んでいます。

製錬・リサイクル事業については、硫酸国際市況の改善や為替が円安に推移したことで増益となりました。

こうした状況のもと、金属セグメントの当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比28.4%増の8,198億円、営業利益は前年同期比23億円増益の810億円となりました。

## [その他]

その他の事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比6.3%増の2,406億円、営業利益は前年同期比32億円増益の233億円となりました。

建設事業については、民間設備投資に持ち直しの動きがみられ、公共投資も底堅さが増しているものの、原油価格の高騰等の影響により、厳しい経営環境が続いています。こうした状況のもと、アスファルト合材等の製品販売における原材料価格の上昇に対する価格転嫁を推進するとともに、技術の優位性を活かした受注活動や、コスト削減・業務効率化に努めました。

上記各セグメント別の売上高には、セグメント間の内部売上高が合計247億円（前年同期は204億円）含まれています。

## (2) 財政状態に関する説明

- ① 資産 当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末比1兆1,758億円増加の10兆8,240億円となりました。
- ② 負債 当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、棚卸資産の増加に伴う運転資金の増加等により、前連結会計年度末比9,378億円増加の7兆3,520億円となりました。有利子負債残高は、前連結会計年度末比6,164億円増加の3兆3,518億円となり、また、手元資金を控除したネット有利子負債は7,296億円増加の2兆9,145億円となりました。
- ③ 資本 当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、配当金の支払や自己株式の取得による減少等があったものの、四半期利益の計上等により、前連結会計年度末比2,380億円増加の3兆4,720億円となりました。

なお、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末比1.4ポイント減少し28.3%、1株当たり親会社の所有者帰属持分は前連結会計年度末比108.78円増加の999.66円、ネットD/Eレシオ(ネット・デット・エクイティ・レシオ)は前連結会計年度末比0.16ポイント悪化し、0.84倍となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回(2022年5月13日)公表した、通期の連結業績予想を修正します。なお、本連結業績予想は、通期平均で、原油価格(ドバイ原油)；1バーレル当たり96ドル(10月以降90ドル)、銅の国際価格(LME価格)；1ポンド当たり366セント(10月以降：340セント)、円の対米ドル相場；137円(10月以降140円)を前提としています。(前回予想：原油価格；1バーレル当たり90ドル、銅の国際価格；1ポンド当たり420セント、円の対米ドル相場；120円)

前回予想以降、円の対ドル相場が前回予想の前提より円安水準で推移しており、売上高は14兆9,000億円(前回予想12兆8,000億円)となり、また、在庫影響(総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響)も2,200億円となる見込みであることから、営業利益は5,600億円(前回予想比2,200億円の増益)、税引前利益は5,400億円(前回予想比2,300億円の増益)、親会社の所有者に帰属する当期利益は3,300億円(前回予想比1,600億円の増益)となる見通しです。

また、在庫影響を除いた営業利益相当額は3,400億円(前回予想据え置き)となる見通しです。

なお、この連結業績予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

配当については、前回予想(年間配当22円/株[中間配当11円/株、期末配当11円/株])からの修正はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	547,272	430,319
営業債権及びその他の債権	1,499,758	1,653,053
棚卸資産	1,994,830	2,739,048
その他の金融資産	121,193	163,328
その他の流動資産	145,533	366,944
流動資産合計	4,308,586	5,352,692
非流動資産		
有形固定資産	3,543,053	3,761,028
のれん	251,175	258,979
無形資産	518,995	529,979
持分法で会計処理されている投資	497,571	452,665
その他の金融資産	470,550	401,464
その他の非流動資産	19,114	26,255
繰延税金資産	39,175	40,945
非流動資産合計	5,339,633	5,471,315
資産合計	9,648,219	10,824,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,789,756	2,029,687
社債及び借入金	858,829	1,368,429
未払法人所得税	36,351	135,599
リース負債	69,275	71,755
その他の金融負債	91,888	76,798
引当金	28,067	17,841
その他の流動負債	408,842	370,330
流動負債合計	3,283,008	4,070,439
非流動負債		
社債及び借入金	1,876,629	1,983,381
退職給付に係る負債	220,188	230,015
リース負債	413,276	438,647
その他の金融負債	42,462	40,766
引当金	125,923	146,978
その他の非流動負債	55,887	55,552
繰延税金負債	396,767	386,195
非流動負債合計	3,131,132	3,281,534
負債合計	6,414,140	7,351,973
資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,049,093	1,034,242
利益剰余金	1,517,733	1,750,825
自己株式	△8,557	△82,416
その他の資本の構成要素	202,528	263,764
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,860,797	3,066,415
非支配持分	373,282	405,619
資本合計	3,234,079	3,472,034
負債及び資本合計	9,648,219	10,824,007

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,731,408	7,394,034
売上原価	4,034,127	6,569,891
売上総利益	697,281	824,143
販売費及び一般管理費	405,774	470,451
持分法による投資利益	37,662	45,741
その他の収益	25,969	45,888
その他の費用	17,311	50,571
営業利益	337,827	394,750
金融収益	2,511	25,446
金融費用	12,140	22,531
税引前四半期利益	328,198	397,665
法人所得税費用	92,361	123,368
四半期利益	235,837	274,297
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	211,365	248,756
非支配持分	24,472	25,541
四半期利益	235,837	274,297
		(単位：円)
基本的1株当たり四半期利益	65.83	78.95
希薄化後1株当たり四半期利益	65.67	78.77

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	235,837	274,297
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	14,408	△25,706
確定給付制度の再測定	4,497	△4,346
持分法適用会社におけるその他の包括利益	74	1,303
合計	18,979	△28,749
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	7,870	96,185
キャッシュ・フロー・ヘッジ	5,881	1,995
持分法適用会社におけるその他の包括利益	3,914	26,824
合計	17,665	125,004
その他の包括利益合計	36,644	96,255
四半期包括利益	272,481	370,552
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	242,951	327,172
非支配持分	29,530	43,380
四半期包括利益	272,481	370,552

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2021年4月1日残高	100,000	1,066,459	1,042,416	△8,793	93,184	△6,851
四半期利益	—	—	211,365	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	13,335	2,314
四半期包括利益合計	—	—	211,365	—	13,335	2,314
自己株式の取得	—	—	—	△33	—	—
自己株式の処分	—	△285	—	285	—	—
剰余金の配当	—	—	△35,363	—	—	—
株式報酬取引	—	354	—	—	—	—
非支配株主との資本取引等	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	4,693	—	△119	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	△2,824
その他の増減	—	521	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	590	△30,670	252	△119	△2,824
2021年9月30日残高	100,000	1,067,049	1,223,111	△8,541	106,400	△7,361

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の為替換算差額	確定給付制度の再測定	合計			
2021年4月1日残高	38,693	—	125,026	2,325,108	427,460	2,752,568
四半期利益	—	—	—	211,365	24,472	235,837
その他の包括利益	11,363	4,574	31,586	31,586	5,058	36,644
四半期包括利益合計	11,363	4,574	31,586	242,951	29,530	272,481
自己株式の取得	—	—	—	△33	—	△33
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
剰余金の配当	—	—	—	△35,363	△14,690	△50,053
株式報酬取引	—	—	—	354	—	354
非支配株主との資本取引等	—	—	—	—	△65	△65
利益剰余金への振替	—	△4,574	△4,693	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	△2,824	△2,824	△3,820	△6,644
その他の増減	—	—	—	521	1,911	2,432
所有者との取引額合計	—	△4,574	△7,517	△37,345	△16,664	△54,009
2021年9月30日残高	50,056	—	149,095	2,530,714	440,326	2,971,040

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2022年4月1日残高	100,000	1,049,093	1,517,733	△8,557	142,660	△21,982
四半期利益	—	—	248,756	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△22,094	4,967
四半期包括利益合計	—	—	248,756	—	△22,094	4,967
自己株式の取得	—	—	—	△74,233	—	—
自己株式の処分	—	△374	—	374	—	—
剰余金の配当	—	—	△35,370	—	—	—
株式報酬取引	—	222	—	—	—	—
非支配株主との資本取引等	—	△15,812	—	—	△9,791	—
利益剰余金への振替	—	—	19,706	—	△24,051	—
非金融資産への振替	—	—	—	—	—	12,317
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	1,113	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△14,851	△15,664	△73,859	△33,842	12,317
2022年9月30日残高	100,000	1,034,242	1,750,825	△82,416	86,724	△4,698

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の為替換算差額	確定給付制度の再測定	合計			
2022年4月1日残高	81,850	—	202,528	2,860,797	373,282	3,234,079
四半期利益	—	—	—	248,756	25,541	274,297
その他の包括利益	99,888	△4,345	78,416	78,416	17,839	96,255
四半期包括利益合計	99,888	△4,345	78,416	327,172	43,380	370,552
自己株式の取得	—	—	—	△74,233	—	△74,233
自己株式の処分	—	—	—	△0	—	△0
剰余金の配当	—	—	—	△35,370	△10,642	△46,012
株式報酬取引	—	—	—	222	—	222
非支配株主との資本取引等	—	—	△9,791	△25,603	△8,938	△34,541
利益剰余金への振替	—	4,345	△19,706	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	12,317	12,317	6,211	18,528
企業結合による変動	—	—	—	—	3,392	3,392
その他の増減	—	—	—	1,113	△1,066	47
所有者との取引額合計	—	4,345	△17,180	△121,554	△11,043	△132,597
2022年9月30日残高	181,738	—	263,764	3,066,415	405,619	3,472,034

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I. 前第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目

(単位:百万円)

	エネルギー	石油・天然 ガス開発	金属	報告セグメント 合計	その他	調整額 (注3)	連結
売上高							
外部顧客への売上高	3,789,540	95,553	637,724	4,522,817	208,591	—	4,731,408
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注1)	1,911	—	852	2,763	17,685	△20,448	—
計	3,791,451	95,553	638,576	4,525,580	226,276	△20,448	4,731,408
セグメント利益又は損失(△) (注2)	196,462	38,783	78,717	313,962	20,055	3,810	337,827
金融収益							2,511
金融費用							12,140
税引前四半期利益							328,198

(注) 1. 報告セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいています。

2. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書における営業利益で表示しています。

3. セグメント利益又は損失の調整額3,810百万円には、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社収益・全社費用の純額2,558百万円が含まれています。

## II. 当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失及びその他の項目

(単位:百万円)

	エネルギー	石油・天然 ガス開発	金属	報告セグメント 合計	その他	調整額 (注4)	連結
売上高							
外部顧客への売上高 (注1)	6,258,498	97,667	818,942	7,175,107	218,927	—	7,394,034
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注2)	2,106	76	822	3,004	21,669	△24,673	—
計	6,260,604	97,743	819,764	7,178,111	240,596	△24,673	7,394,034
セグメント利益又は損失(△) (注3)	229,161	60,435	80,969	370,565	23,299	886	394,750
金融収益							25,446
金融費用							22,531
税引前四半期利益							397,665

(注) 1. 外部顧客への売上高には、顧客との契約から生じた収益及びその他の源泉から生じた収益が含まれています。

2. 報告セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. セグメント利益又は損失は、要約四半期連結損益計算書における営業利益で表示しています。

4. セグメント利益又は損失の調整額886百万円には、各報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社収益・全社費用の純額4,517百万円が含まれています。